

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	中心市街地活性化対策事業				財務会計上の事業名	中心市街地活性化対策事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	7	1	1	担当部署名	地域活性課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第7節商業の活性化				
	項目	項目1 地域ブランドの確立				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	池田ブランドの構築や空き店舗の活用など、民間主導で行われる商業などの活性化に向けた事業を支援する。
めざす姿(目標)	中心市街地における経済活力の向上及び適正規模での都市機能の増進を図る。
事業の対象(誰を、何を)	中心市街地活性化事業を行う経済団体や商店会
事業の手段・方法(どのように)	空き店舗を活用した活性化事業などに係る経費の一部を支援する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	12,681	7,985	10,568		支援活動団体数	5団体	4団体	5団体
主な内訳	補助金	5,726	5,726	8,726				
	負担金	1,800	1,800	1,800				
	消耗品費	14	38	42				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	支援活動団体の目標値を確保し、中心市街地の活性化について一定の成果と知名度をあげているため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
一般財源 C	12,681	7,985	10,568	・上記「有効性・効率性」選択の理由	補助団体の活動がメディアに取り上げられるなど、同事業の取り組みが社会から一定評価されているが、同一内容の事業補助が続いている等、幅広い支援ができていないため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>中心市街地活性化基本計画について、今後は市内の民間事業者等からの要望等状況を注視しながら策定の要否や時期等を検討する。また、これまで中心市街地活性化の取り組みを担ってきたまちづくり会社である「いけだサンシー株式会社」が解散したことに伴い、今後のまちづくりの方向性について、市内事業者とともに検討していく必要がある。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
<p>成果の指標である活動団体数は維持しているものの、さらなる中心市街地の活性化を推進していくために、事業内容の精査や補助金要綱の改正が課題である。</p>	<p style="text-align: center;">現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 中心市街地の活性化については、引き続き商店街と学生による「空き店舗活用事業(池田・石橋)」の支援を継続していくが、まちづくり会社の解散に伴い、池田ブランド構築事業の内容は、今後の方向性も含めて十分検討していく必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	商工業団体補助等事業				財務会計上の事業名	商工団体補助事業・商工業関係者表彰事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	7	2	1	担当部署名	地域活性化課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第7節商業の活性化				
	項目	項目2 経営の安定化				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内商工業の発展と経営の安定化を図る団体に対して、補助する。また、市内の優良商工業者と従業員を表彰する。
めざす姿(目標)	中小企業や個人事業主の経営安定を目的に、各種支援事業を通じて店舗数の増加や拡充を図る。
事業の対象(誰を、何を)	池田商工会議所等の商工業団体のほか、市内に所在する中小企業者及びその事業所に勤務する従業員
事業の手段・方法(どのように)	各種団体に補助金を交付するほか、池田商工会議所と共催で、優良商工業者・従業員を表彰
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	1,854	1,864	1,864	
主な内訳	補助金	1,670	1,670	
	負担金	150	160	
	委員報酬	34	34	
	国・府支出金	104	117	
財源	地方債			
	その他()			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	1,750	1,747	1,864
一般財源比率 C÷A	94.4%	93.7%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
商工会議所会員数	1,304人	1,302人	1,320人
店舗・事業所数	622件	596件	630件
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	商工会議所会員数は目標付近を前後しており、店舗・事業所数の増減については、指標策定時の団体解散により一部数値が把握できなくなったが、現状維持程度を保持しているため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	補助金の効果を定量的な数値として把握するのは困難であるが、市内商工業の振興に活用されている。表彰については、商工業者及び従業員にとって励みになるため、予算の範囲内で工夫し多くの受賞者を輩出しており、商工業の振興を推進できている。また、商工会議所との連携により、可能な限り事業費を抑制できている。		

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>商工団体補助は、商工業の発展と経営の安定化、並びに市の活性化を図るために昭和27年から事業を継続してきた。平成28年度に池田市市場会連合会を同会の解散に伴い補助対象から除外。また、商工業関係者表彰については、市内の優良商工業者及び従業員を表彰することによって商工業の発展、従業員の勤務意欲と資質の向上等を目的に昭和46年度から事業を継続してきた。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p style="text-align: center;">現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 商工業団体補助は、各補助団体の補助金使途を定めておらず、効果を定量的な数値として把握するのは困難。しかし、池田商工会議所をはじめ、商工業団体を支援することで、市全体の商業者の育成、商工業の活性化につなげるため、今後も継続して支援を行う。商工業関係者表彰は、市と会議所の共催で実施しているところは北摂では本市のみとなっており、受賞対象者も団体によって差がある。受賞者の選定については、引き続き表彰にふさわしい方を審査会に諮り、慎重に審査していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	商業祭・商業活性化イベント補助事業				財務会計上の事業名	商業活性化事業・商業活性化イベント事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	7	3	1	担当部署名	地域活性課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち				
	節(施策)	第7節商業の活性化				
	項目	項目3多様な商圏の確立				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内の各所に多様な商圏を確立し、地域住民のニーズを満たすことをめざして、にぎわい促進イベント事業を補助する。
めざす姿(目標)	商業祭、商業活性化イベントなどの地域密着型商業を育成する。
事業の対象(誰を、何を)	市内商業団体
事業の手段・方法(どのように)	商業祭の開催に係る費用のほか、商業の活性化を目的としたイベントに対して経費の一部を助成する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	1,620	1,825	2,000		商業祭出店数	9店	31店	15店
主な内訳	補助金	1,620	1,825	2,000	商業祭来場者数	2,500人	17,500人	6,000人
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	出店数・来場者数ともに目標値を大きく上回ったため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	1,620	1,825	2,000	・上記「有効性・効率性」選択の理由	商業祭のほか、商業活性化イベントなど地域に密着したイベントに対し補助することで、商業者の地域活動が促進され、商業の活性化に繋がるため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>商業祭は商業祭実行委員会に対し補助金を交付するもので、池田市域の商業の活性化及び地域の賑わいの創出に寄与している。商業活性化イベント補助事業は平成29年度に事業の対象に含まれていた店舗回遊型商業活性化イベントへの補助を商工会議所に移管し、別事業化したため、その分の予算額を減額した。これら補助金は池田市商業振興条例で定める、地域のにぎわいの創出に関するイベントに対し、補助を行うもの。イベントの実施メンバーの高齢化や広がり課題で、今後は池田市域全体の個店の売り上げ増加に繋がるような仕組みの検討が必要である。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 商業祭の地元事業者の出店数や来場者について、池田市全域に効果のあるものとするなど、今後の実行委員会の事業展開について注視していく必要がある。市が一部の費用を負担し、継続したイベントを開催することで、商業者間のつながりが広がることを期待する。市内の商業活性化のため、申請内容を精査しながら、引き続き池田市商業振興条例で定める補助を行っていく。</p>